

「守谷野鳥のみち」

*利根川・鬼怒川・小貝川に囲まれた北相馬台地縁辺の自然林と江戸時代初期までは内海だった湿地中心市街地の身近で大規模な里山と有機的な動植物連鎖のあるビオトープと野鳥の天国そこには貴重な日本の原風景が残されています

*静かな林間の林間コース5ルート(土の道)と明るい湿地草原の湿地コース(木の道)が舞台(全体を守谷野鳥のみちと総称)東京中心部から約1時間の大規模な緑地環境

*全周4.8kmの変化に富んだ本格的な自然歩道では、自然がいっぱい、時間がゆったり流れています

*市民団体、ボランティア、小中学生、行政、地域の人々の手づくり、地域力結集の魅力づくり、自分たちの楽しみのために、同じやるなら全国レベルで

*中心市街地の身近な木漏れ日の森は、野鳥たちと共生の「林間コース」(土の道)変化に富んだ、選べる全5ルート総延長3km素敵なフットパス、鳥たちのおしゃべりを聞きながら、やすらぎのひとときを



*隣の「湿地コース」(木の道)1.8kmは、元内海の湿地の本格的なバリアフリー木道総延長1050mが主体幅140cm耐久性を考えた総ヒノキの市民手づくり(但、湿地コース木道は犬帯同禁止)



*野鳥たち、小動物と人間の共生、景観に配慮した設計、夜間はイタチやタヌキの遊び場にも夏にはヘイケボタルも楽しめます豊かな自然環境では無限の可能性を実感できるでしょう

